

2022年度

保育科の教育活動に関するアンケート

(卒業年次アンケート 分析結果)

1. 授業（学修）に関すること

本学で開講している科目数や種類（Q 6…5 点満点中 4. 4 1 点）及び授業の時間帯や 1 週間の時間割の密度（Q 7…4. 1 5 点）に対する満足度は例年の通り高い。また、印象に残っている科目（Q 8）も、例年の通り造形や音楽といった表現活動が最も多く、全回答の 5 割弱を占めた。次いで、保育・教職実践演習や実習科目が挙げられている。

その一方、在学中に学修を深めたかった事項（Q 9）としては、幼児への対応や手遊び、幼児体育など、子どもとの関わり方や遊びのレパートリーを増やす活動が多く挙げられた。また、虐待や施設といった社会的養護・児童養護に関する事項も挙げられている。

本学のディプロマ・ポリシーである「遊び力」の向上を図るため、本年度より子どもの遊びに関する授業科目「領域に関する専門的事項」（例：子どもと健康，子どもと環境など）を開講した。上述した卒業年次生の要望にも応えられるよう、次年度以降も、これらの授業科目の充実を図っていきたい。

2. 学生生活に関すること

（1）教職員の学生対応やクラス制、友人関係に関すること

教職員の学生対応（Q 1 5，Q 1 6，Q 1 7）に対する満足度も例年の通り高く、いずれも 5 点満点中 4. 4 1 点以上であった。また、学生同士の友人関係（Q 1 3）やクラス制（Q 1 4）に対する満足感も高く、本学ならではの「優しく」「温かく」「仲の良い」関係性に満足していることがうかがえた。

（2）施設や設備に関すること

本学の施設・設備に対する総合満足度は 5 点満点中 4. 3 3 点と高い。しかし、バス（スクールバスを含む）の運行時間や本数（Q 1 8）、学生食堂の充実度（Q 1 9）については、一定数の学生が「やや不満」もしくは「不満」と回答している。ここ数年、同様の評価が続いているため、学園への早期改善を要望していきたい。

3. 就職支援に関すること

教職員の就職支援（Q 2 6，Q 2 7）に対する満足度は高く、いずれも 5 点満点中 4 点以上の評価であった。また、就職ガイダンスやセミナーへの参加率は例年の通りである。学生の半数程度が「毎回」参加したと答えた（Q 2 8－1）。しかし、その満足度は 5 点満点中 3. 9 8 点であり決して高い評価とは言えない。Q 1 2（本学の授業に関する意見・要望）において、保育・教職実践演習（2 年次後期）にて実施している卒業生講演会を 2 年次前期ないしは 1 年次に実施すると進路選択の参考になるという意見があった。このような意見も参考にしながら、学生が求める就職支援活動を企画していく必要があると考えている。

4. 総合的に振り返って

Q29では、授業や学校生活に対する2年間の総合的な満足度を尋ねた。その結果、57名（有効回答者の86%）の学生が、「満足」もしくは「やや満足」と答えた（5点満点中4.58点）。年々学生数が減少する中でも、在学生に対する教育活動には真摯に取り組んでいる。コマジョらしさを尋ねた質問（Q30）においても、「一人ひとりの個性」や「一人ひとりが尊重される」という意見が挙げられた。学生募集に注力しながらも、学生一人ひとりの成長を支える保育科ならではの丁寧な教育活動に取り組んでいきたい。